

たきざわ社協だより

福祉 おもいやり



4月24日(火)滝沢村公民館を会場に、滝沢村老人クラブ連合会総会が開催されました。総会では「高齢者が互いに支え励まし合い、楽しみを忘れず、長寿の喜びを実感できる人間関係を構築するとともに、知識や経験を地域に還元する。」などを方針とした事業計画及び予算などが協議されました。また、役員の変更が行われ、連合会の新会長として法誓寺地区老人クラブ悠和会会長の川端洋さん(写真最右)が選任されました。

第 148号

平成24年5月15日発行

発行／社会福祉法人滝沢村社会福祉協議会

〒020-0172岩手県岩手郡滝沢村鶉飼字中鶉飼47番地1

TEL 019-684-1110・FAX 019-684-1121

Eメール takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~takisha/>

この広報紙は、共同募金配分金の一部を充てて発行しています。

主な内容

- 平成24年度
滝沢村社協事業計画と予算…………… ②③
- お知らせ…………… ④⑤
- 寄附・川柳・親子でスマイル…………… ⑥



平成24年度
事業計画・予算

あなたも私も、誰もが共に支え合い・助け合う
「安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」

近年、少子高齢化が拡大するとともに核家族化や中高年の単身世帯の増加などが急速に進行し、その中で、地域における近隣関係の希薄化や子育て力の低下、高齢者や障がい者、単身世帯等の社会的孤立など私たちが暮らす地域内の課題が複雑化しております。また、景気低迷や昨年の大震災に起因する雇用不安や生

活困窮等の問題も引き続き深刻となつてきております。

滝沢村内でも高齢者等の孤独死が数件あり、近隣住民や日頃から付き合いのある友人の気つきによって、早い段階で通報・発見が行われ家族へ連絡することができております。このように高齢者等の孤独死の問題など、公的な対応だけでは解決できないものが増えております。

この現状を踏まえ、平成24年度滝沢村社会福祉協議会では、引き続き地域住民の力によって地域内の生活課題を解決していけるよう、住民同士の支え合い・助け合い活動を推進するため、地域福祉事業に取り組んでまいります。滝沢村社会福祉協議会活動の使命・理念である「住み慣れたところで誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域の生活課題の発見や解決にあたって必要な住民同士の支え合い・近所福祉活動が地域に展開されるよう努めます

また、昨年3月11日に発生した「東日本大震災」では、大津波により三陸沿岸市町村が甚大な被害を受けました。今も続く被災地支援活動は、時間の経過とともに、がれき処理作業から被災者の心に寄り添う生活支援活動へと変化してまいります。滝沢村社会福祉協議会では、震災によって滝沢村内に避難している方々のニーズを把握しながら、必要とされる支援への取り組みを進めていきます。

3月に開催した「手話入門講座」には小学生も参加するなど幅広い年代の方々が受講されました。講座では、実際に耳の聞こえない方にも講師を務めていただきました。社会福祉協議会では、こうした講座を、技術の習得だけではなく、障がいがあっても生きやすい地域について、一人ひとりにできることを考える機会にしていたきたいと考え、開催しています。

この現状を踏まえ、平成24年度滝沢村社会福祉協議会では、引き続き地域住民の力によって地域内の生活課題を解決していけるよう、住民同士の支え合い・助け合い活動を推進するため、地域福祉事業に取り組んでまいります。滝沢村社会福祉協議会活動の使命・理念である「住み慣れたところで誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域の生活課題の発見や解決にあたって必要な住民同士の支え合い・近所福祉活動が地域に展開されるよう努めます

重点目標

1 お互いさまのまちづくりの推進

地区自治会等と連携のもと、お互いさまのまちづくりを推進し、災害発生等に備え、日頃からの支え合い・助け合い活動の普及・推進に努めます。

2 ご近所福祉の充実強化

地域課題の発掘や解決に向けて支え合いマップの整備・充実に努めます。

3 ボランティア活動の振興

ボランティア活動のニーズを把握し、ボランティアの育成、活動の拡大・活性化を進めます。

4 組織の充実強化

・住民ニーズ把握を基に、社会福祉協議会活動の強化や地域福祉の充実を図るため、地域福祉活動計画策定に取り組みます。

・社会福祉協議会組織や活動の周知を強化し、世帯会員の拡大・賛助会員・特別会員の増強等を図り、財源確保に努めます。

・社協の経営理念及び使命に則り事業推進に努め、業務

評価を行ないながら組織運営の充実・強化に努めます。

5 東日本大震災被災者への支援

震災により村内に避難している方のニーズを把握し、心に寄り添う支援に取り組みとともに、沿岸被災地の要請に応じ、関係機関等と連携した現地支援に繋がります。

6 福祉関係諸団体等との連携、協調機能の確立強化

地域福祉を推進する中核的組織として、関係機関団体との連携・協働をはかり、その機能強化に努めます。

滝沢村社協の地域福祉事業

●ふれあいのまちづくり事業

- ・広報紙「福祉おもいやり」の発行
- ・ホームページの開設
- ・地域福祉ゆいづくり事業
- ・社会福祉大会の開催
- ・住民福祉講座の開催

●福祉教育推進事業

- ・社会福祉協力校育成事業
- ・福祉作文コンクールの実施

●福祉団体活動育成・支援

- ・福祉関係団体（民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会、母子寡婦福祉協会、民生児童委員OB会）
- ・福祉活動団体（ひとり暮らしさわか友の会、認知症の人と家族の会）

●調査・研究事業

- ・地域福祉活動計画の策定
- ・成年後見制度の調査研究

●ボランティア活動センター事業

- ・ボランティア相談、登録、斡旋
- ・ボランティア育成講座の開催
- ・ハートフルピクニックの実施
- ・福祉ボランティアまつりの開催
- ・ボランティア集会の開催

●ボランティア活動拠点「スマイル・すまいる」の運営

●地域福祉活動推進事業

- ・地域福祉活動助成事業

●在宅福祉支援事業

- ・訪問ふくし理容サービス
- ・ふれあい送迎サービス
- ・車椅子の貸出
- ・日常生活自立支援事業
- ・福祉サービス苦情解決相談
- ・互助型援助活動事業（お助け便）の推進
- ・「いわて「おげんき、みまもりシステム」事業

●滝沢村睦大学事業の運営

●子育て支援事業

- ・親子サロン「チャチャチャ」の開催
- ・ファミリーサポートセンター事業

●低所得者支援事業

- ・生活福祉資金の貸付
- ・たすけあい資金の貸付

●心配ごと相談事業

- ・くらしの相談所の開設
- ・各種専門相談事業の実施

●罹災援護事業

●歳末援護事業

●災害復興支援事業

●滝沢村老人福祉センターの管理運営（指定管理者）

平成24年度滝沢村社会福祉協議会予算

収入の部

単位：千円

科目	金額	内容
会費収入	7,620	世帯・賛助・特別・施設・団体会費
寄附金収入	511	寄附金
補助金収入	36,271	法人運営費、事業費補助
資金貸付事業受託金	2,303	生活福祉資金貸付事業事務委託料
老人福祉センター指定管理料	13,981	老人福祉センター指定管理料
睦大学受託金	5,288	睦大学事業委託料
ファミリーサポートセンター受託金	4,798	ファミリー・サポート・センター事業委託料
専門相談所受託金	954	専門相談所事業委託料
福祉団体事務受託金	253	民生委員、老人クラブ、身障、母子、遺族
事業収入	615	送迎サービス事業等
貸付事業等収入	1,500	たすけあい資金貸付事業
共同募金配分金収入	9,779	赤い羽根、歳末たすけあい事業費配分金
負担金収入	6,408	派遣職員負担金、共同募金会事務負担金
雑収入	362	ボランティアまつり等
受取利息配当金収入	45	利息収入
経理区分間繰入金収入	6,373	経理区分間繰入金
施設整備等による収入	0	
財務活動等による収入	0	
前期末支払資金残高	13,491	平成23年度繰越金
収入合計	110,552	

支出の部（事業別）

単位：千円

科目	金額	内容
法人運営事業	52,892	法人運営事務・事業に係る費用
共同募金配分金事業	9,780	社協だより、歳末助けあい激励金等
地域福祉活動事業	10,445	福祉大会、福祉団体活動推進、福祉協力校、ボランティアまつり、作文コンクール、ボランティアセンター運営、福祉講座、ハートフルピクニック、スマイルすまいる運営、理容サービス、くらしの相談所、送迎サービス等の各種地域福祉事業
専門相談所事業	954	専門相談所開設に係る費用
ファミリーサポートセンター事業	4,798	ファミリー・サポート・センター運営に係る費用
老人福祉センター指定管理事業	14,150	老人福祉センターの管理運営に係る費用
睦大学事業	5,288	睦大学の運営に係る費用
福祉基金事業	538	福祉基金積立金、助成事業
資金貸付事業	3,771	資金貸付事業に係る費用
支出合計	102,616	

次年度繰越額 収入－支出＝7,936千円

滝沢村社会福祉協議会

住所 滝沢村鵜飼字中鵜飼 47-1
 滝沢村老人福祉センター内
 TEL 684-1110 FAX 684-1121
 Eメール: takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

お知らせ・ご案内

Information

受講者募集!

キヤップハンディ体験(障がい疑似体験)学習 サポートボランティア養成講座

「キヤップハンディ体験」をご存知ですか? 「キヤップハンディ」体験とは、障がいのある状態を疑似体験することを通して、障がいのある人もそうでない人も共に暮らす社会についての「気づき」をうながすことを目的とした体験学習です。

村内の小・中・高等学校の児童

生徒たちは、学校の授業の中で「キヤップハンディ」体験学習に積極的に取り組んでいます。各学校で七月からスタートする「キヤップハンディ」体験学習に向けて、子供たちの体験学習のサポートに協力してくれるボランティアの養成講座を開催します。



- と き: 6月19日(火) 10時00分～16時30分
- 会 場: 滝沢村公民館ホール
- 内 容: 講習①「高齢者疑似体験」
 講習②「障がい疑似体験(車いす編)」
 講習③「障がい疑似体験(白杖編)」
- 参加費: 無料
- 定 員: 20名
- 申込み: 6月12日(火)までに社会福祉協議会へお申込み下さい。

みんなで登ろう鞍掛山へ!!

ハートフルピクニック 参加者募集

「ハートフルピクニック」は障がいを持った方とボランティアと一緒に鞍掛山登山を楽しむ企画です。

みんなで手を取り合い、助け合って山頂を目指します。村内にお住まいの障がいをお持ちの方で鞍掛山登山にチャレンジしてみたい方、登山のサポートに協力してくれるボランティアの方を募集します。

- 日 時: 7月7日(土)
 8時30分集合
 14時30分解散(予定)
 ※小雨決行、荒天中止
- 参加費: ひとり300円(ジューズ代、資料代、行事保険料等)
- 申込み: 6月22日(金)までに電話またはFAXにて社会福祉協議会へお申込下さい。
- その他: 参加者合同説明会を6月30日(土)10時30分から滝沢村老人福祉センターで行います。「ハートフルピクニック」の様子をおさめたビデオの上映や当日の流れの説明の他参加者のみなさんの「顔合わせ」もかねておりますので、出来る限りご出席下さい。



- 集 集: ①村内にお住まいの障がい
- 集合場所: 滝沢村 相の沢キャンプ場

各種相談所を 開設しています

村民の皆様を対象とした各種相談所を開設しています。一人で悩みを抱え込まず、お気軽にご利用下さい。どの相談所も無料で秘密は守られます。

「法律相談」と「相続・登記相談」は予約制です。

ご予約はお早めに社会福祉協議会へ。

☎684-1110

くらしの相談

5月22日(火) 10時～12時

相談員：くらしの相談員(民生委員等)

会場：老人福祉センター

相続・登記相談

6月5日(火) 10時～15時

相談員：司法書士

会場：スマイル・すまいる

6/1予約締切

くらしの相談

6月12日(火) 10時～12時

相談員：くらしの相談員(民生委員等)

会場：老人福祉センター

法律相談

6月19日(火) 10時～15時

相談員：弁護士

会場：スマイル・すまいる

6/15予約締切

くらしの相談

6月26日(火) 10時～12時

相談員：くらしの相談員(民生委員等)

会場：老人福祉センター

くらしの相談

7月10日(火) 10時～12時

相談員：くらしの相談員(民生委員等)

会場：老人福祉センター

知的障がい相談

7月11日(水) 10時～12時

相談員：知的障がい相談員

会場：スマイル・すまいる

休日くらしの相談

7月14日(土) 13時～15時

相談員：くらしの相談員(民生委員等)

会場：老人福祉センター

法律相談

7月17日(火) 10時～15時

相談員：弁護士

会場：スマイル・すまいる

7/12予約締切

スマイル・すまいるは、滝沢ニュータウン内 滝沢中央交番の隣にあります。

☎684-6141

生活福祉資金 緊急小口資金 貸付のご案内

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった世帯に対し必要な小口の生活資金を貸付けます。

- 貸付限度額 100,000円以内
- 据置期間 貸付の日から2ヶ月
- 返済期間 8ヶ月以内
- 貸付利子 無利子
- 利用できる世帯 世帯の収入が一定基準以下の世帯

借入相談及び審査

相談に際しては、世帯構成や生計の状況等詳細をお聞きします。

貸付審査は岩手県社会福祉協議会が行います。この制度は、貸付によって現在の生活困窮状態からの自立改善が見込める世帯が対象となります。また「貸付金」を返済していただける見込みのある世帯であることも必要です。

借入ケースの例示

- ①医療費や介護費などの支払いがあったため、一時的に生活費が足りない
- ②給与の盗難、紛失などに遭い生活費が必要になった
- ③火災等の被災によって生活費が必要なとき
- ④その他これらと同様のやむを得ない事由によるとき
 - ・年金、保険、公的給付等の支給開始までの生活費
 - ・会社からの解雇、休業等による収入減。
 - ・滞納していた税金、国民健康保険料、公共料金を支払ったことにより生活費が必要となったとき。

子育て中の保護者の憩いの場 いっしょにあそぼ! 親子サロン「チャチャチャ」

スマイル・すまいるを会場に、未就園児と保護者の方を対象としたサロンを開催しています。事前予約や申し込みは必要ありませんので、どうぞお気軽にお子さんと一緒に遊びに来て下さい。たくさんのおもちゃを用意してお待ちしています。

- 開設日時 毎週金曜日 10時～11時30分
- 会場 スマイル・すまいる ☎684-6141
- 対象 村内にお住まいの未就園児とその保護者
- 内容 おもちゃや絵本で遊びながら、ほかの子育て中の仲間とおしゃべりが出来ます。サロン登録のサポーターが保護者の方と一緒にお子さんのお世話をします。
- 参加費 無料 (但し季節行事等、材料費実費程度を頂く場合有り)



木の温もりがやさしい木製のおもちゃ(グッド・トイ)が増えました

傾聴ボランティア養成講座

ボランティアグループ「傾聴ボランティアもりおか」主催の養成講座が開催されます。

●日程

8月28日、8月29日、
8月30日、9月5日、
9月6日、10月30日、
10月31日
時間：9時30分～17時

●会場

盛岡市総合福祉センター
(盛岡市若園町2-2)

●受講料

3,500円

●受講条件

右記の全日程を受講できる方で、講座終了後は傾聴ボランティアとして活動に参加できる方。

●講師

NPO法人ホールファミリーケア協会 鈴木絹英氏

●申込方法

往復ハガキに①住所②氏名③生年月日④職業⑤電話番号を記載し郵送。

【宛先】〒020-0881

盛岡市三本柳4-14-2
傾聴ボランティアもりおか
会長 藤原一高

※希望者多数の場合は抽選。

●申込締切

平成24年7月17日(火)



(当日消印有効。受講決定通知は8月上旬発送)

●その他

希望者には一食500円で昼食を斡旋。申込時にハガキに「弁当希望」と記載。

●問い合わせ先

傾聴ボランティアもりおか
0200-2083-5624
(受付時間：9時～18時)

ご寄附ありがとうございました

平成24年3月1日から平成24年4月30日まで、次の方々からご寄附いただきました。

- ・久保 和男 様 5,000円
(福祉のために)
- ・ふるさと歌謡クラブ 様 20,000円
(チャリティー発表会益金)
- ・匿名4件 20,200円



ふるさと歌謡クラブ様(右)



《篠 木》

凌汰朗 くん (1歳9ヶ月)
香 織 さん 親子

お子さんが得意なことは？
走ったりジャンプするのが大好きです。
どんな大人になって欲しいですか？
男らしく、強く、信頼される大人になってほしいです。

子育ての楽しいところはどこですか？
日々の成長を見られるところです。大人ではやらないような、お茶目な小ささ、行動に毎日笑わされています。

子育てで心がけていることは何ですか？
野菜が苦手なようので、細かく刻んで少しでも多く食べられるようにしています。心にゆとりを持って接するために、親の息抜きも必要だと思っています。

ご意見・ご要望等お願いします
子どもも私も(スマイル・すまいるに)慣れてきて、とても楽しく利用しています。ありがとうございました。

福祉柳

課題「門出」

一本木 仙人 選

喜寿迎え 米寿へ門出

欲が出て 久保 武夫(川前)

社会人 孫の門出に

拍手する 仙波 幸泉(川前)

門出する 孫に祝の

大祝儀 岩田 弘(元村)

銀婚の 門出祝いで

睦まじく

小笠原 博美(川前)

故郷の 訛も連れて

発つ門出

花田 幹雄(川前)

次回課題「初夏」

応募先 〒020-0101-1721

滝沢村鶴飼字中鶴飼四七一

滝沢村社会福祉協議会

「福祉柳」係りまで

締め切り 六月十五日

投句数 ひとり三句まで

(掲載は五句となります)

※作品によっては添削する場合があります。